

..... 編集後記

◆暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

◆筑波山が暑さの中で霞んで見えなくなると、光化学スモッグ発生の放送があり、冷房が弱くなります。現在の文明は不便なものです。一方、0-157が暴れ回っておりますが、良い対策がないようです。大腸菌はありふれた菌なので研究してこなかったことに原因があるようです。早く良い治療法が見つかるとういのですが、

◆さて、地質ニュースを読んで楽しく、役立つものにしたと思って学校の先生、大学の先生にお会いし色々とお話を乞いました。その結果、解ったことは高校に地学クラブはほとんど無いのではないかとということです。「地質次世代人」というクラブ活動の紹介ページを考えていたのですが空振りに終わりそうです。

◆これはある大学の先生から聞いた話ですが、高校地学のうち、天文は物理で、岩石は薬品を使って溶かすことがあるので化学で、化石は生物で、層序は

適当な理科科目がないので歴史で教えたらどうかとの案が検討されているそうですが、笑いを超えて泣けてきます。

◆恐竜が減んだ原因として哺乳類に卵を食べられたからだとする説がありましたが、いまの地質学は卵を産まない鶏か、根っこのない大木みたいな存在のようです。若い人を育てなければ、地質学はなくなります。

地質に興味をもっている生徒がいなくなったとも、地質の理解が社会生活にとって不要になったとも思いません。『地質ニュース』誌が地質学の凋落の歯止めの役割を果たせたらと考えていますが、今月号もかなり専門的な記事になりました。

教育現場ではどのようにしたら地質に興味をもたせることができるか苦慮しているとのことですので、「やさしい地質学」「楽しい地質学」的な記事を掲載し、先生方を助けてあげることも必要でしょう。

投稿をお待ちしています。

[訂正]

- ・1996年5月号 p.67 「地質標本館だより」本文右側上から3行目 (誤) 山形県乙女鉱山産 → (正) 山梨県乙女鉱山産
- ・1996年5月号 p.67 「地質標本館だより」本文右側下から4行目 (誤) 福井県川俣産 → (正) 福島県川俣産

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

幹事：佐藤興平・今井 登・村上文敏・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係(山崎 浩・谷田部信郎)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第504号	1996年	8月号
	定価	¥770	〒実費
1996年8月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者	林 光生	
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8		
	Tel. (03)3265-0951(代表) 〒102		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	小宮山印刷工業株式会社		

©1996 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。